



photo_大西二士男/写真提供:クリエイティブマン

LIVE REPORT

05 | 27 sat. 広島文化学園HBGホール

EARTH, WIND & FIRE

23年ぶり2回目の広島Liveは
オバマ来広から、ちょうど1年!
“アース”は神の使者として音楽と平和の
素晴らしさを教えてくれた!

SET LIST

- | | | | |
|----------------------------------|---------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 01. Intro (Africano~Power~Faces) | 06. Shining Star | 12. Can't Hide Love | 18. Reasons |
| 02. Boogie Wonderland | 07. On Your Face | 13. Love's Holiday | 19. Got To Get You Into My Life |
| 03. Jupiter | 08. Saturday Nite | 14. Keep Your Head to the sky | 20. September |
| 04. Yearnin' Learnin' | 09. Serpentine Fire | 15. Devotion | 21. Let's Groove |
| 05. Sing a Song | 10. Kalimba Story | 16. That's The Way Of The World | 22. Fantasy |
| | 11. Evil | 17. After the Love Has Gone | 23. In The Stone |

“アース！ 23年ぶりの広島公演決定！”
このBIG NEWSを聞いたのは、約2ヶ月半前の3月10日。1994年4月4日に感じた、“あのGroove”が、“広島”に、“同じホール”に、“同じ音楽”と“同じ感動”を連れて帰ってくれるなんて！ いつもはSOUL BARしたり、DJしたり、“音楽1番生活”をしていますので、まだまだ若いつもりですが。月日は流れて、筆者=51歳！ とてつもなく感動したコンサートから、23年です！（驚）あの時はサラリーマン…あの時はモーリスさん歌ってくれてたよなあ。今回のJAPAN TOURは2016年2月3日、74歳で亡くなったEWFのリーダー、モーリス・ホワイトさんに思いを馳せながらのTOURになったのです。

今回のJAPAN TOURは全国5都市 ONLY。しかも、広島がなんと！

FINAL！ 待ちきれないオーディエンスは開演前、ステージ上の機材等覗き込み、記念撮影(笑)。そして、ついに23年ぶりの、Show Starts on 6:00 p.m.！ ステージ暗転、カリンバの音色と共にス



ステージ後方のスクリーンにEWFの象徴とも言える、不死鳥=フェニックスが映し出される。彼らのアルバムのタイトル『Open Our Eyes』の日本語訳「目を開けて」の文字が印象的だ。

オープニングはインストナンバーのメドレー。『Africano』～『Power』～『Faces』。いきなりFunkyすぎるう！ そして間髪入れず、「早過ぎるよ！」と私、思わず叫んでしまった『Boogie Wonderland』。SASで言えば、『勝手にシンドバッド』を1曲めに演るようなもの！ つかみはOKですな！ 間奏にラテンフレーバーを入れながら、“1分で沸く湯沸かしポット”のように、オーディエンスを一気に沸点に近づける！ いきよりのFunkyTunesは『Jupiter』(終わり方Getaway)～『Yearnin' Learnin'』と続き、オ

ーディエンスは既に沸騰近い80℃(笑)。挨拶代わりのFunkyTunesのせいか、ここまでMCなし。息つく暇もなく『Sing a Song』。これも後半に演ってもいい曲じゃん。そして70年代前半の代表曲、おなじみの『Shining Star』、意外な選曲のひとつ、私大好き『On Your Face』、土曜日の夜にふさわしい『Saturday Nite』、パークシップナリフが気持ちいい『Serpentine Fire』、ここで唯一のオリジナルメンバー“Mr. Enagy!!”ヴァーティン・ホワイトのBass Soloが私達を盛り上げてくれます。モーリスの代名詞でもあったKalimbaを現在のアースのリーダー、フィリップ・ベイリーが聴かせる『Kalimba Story』『Evil』、そして、SlowJamの名曲を『Can't Hide Love』から、なんと7曲連続演

奏！ 1969年結成、活動48年を誇る、スーパーBANDの底力にノックアウトされました。ステージ後方のスクリーンの映像は演奏と見事にリンクし、私達を非日常の世界に誘った。中でも一番印象的だったのは、メンバーがEWFをマザーシップに例えて、船長=キャプテンと呼び慕うモーリスとメンバーの思い出の写真の数々。モーリスが代表曲と語る『That's The Way Of The World』演奏時、オーディエンスからもスクリーンに映るモーリスに惜みない拍手が。そして、メインイベント曲の1つ『Reasons』ではモーリスの魂を引き継いだ、フィリップ・ベイリーが聴かせるハイトーンボイスも健在。フィリップはモーリスから引き継いだ遺産を後世に残そうとしているかのようだった。今回のTOURは

主要メンバーのヴァーティン、フィリップ、パークッション&コーラスのラルフ・ジョンソン以外は、若い実力派のサポートメンバー。フィリップの息子さんもメンバーに加え、代わりにリードヴォーカルを担当させたかと思えば、モーリスが歌ったリードパートは自身で担当。リーダー、フィリップはまるでカーブの#25のようだった。という事は……モーリスはカーブの#15みたいだ。

そして、Showはいよいよクライマックスに向かいます。まずはあの誰もが好きなギターリフでおなじみのみんな大好き『September』でオーディエンスの魂に着火！ 腰が動いちゃう『Let's Groove』、美しすぎる宇宙も感じちゃうアフリカンビート『Fantasy』。こんな名曲の連続演奏なんかされた日にゃあ、そりゃもう大騒ぎ！

最後はまだEWFは続くんだという、決意表明にも聴こえた『In The Stone』で終演。音楽から離れてしまっていた大人から、音楽真っ只中の若人や、音楽聴き始めの青年まで、虜にしてしまう音楽の力を広島に教えてくれた、信じられないほ

ど、素晴らしい『Funky Music Show』。アンコールなし。MC(コール&レスポンス以外)ほぼ無し。1時間40分弱。全25曲(少しだけの曲も含む)。駆け抜けた、23年ぶり、EWF JAPAN TOUR FINAL SHOW 広島でした。

広島と平和と音楽(SOUL)を愛する私にとって、5月27日は記念日になりました。2016年の5月27日はオバマ米大統領の広島訪問。そして、今年2017年の5月27日はEARTH,WIND & FIREのLIVE。23年ぶりの広島公演が実現したんです！ 私には“神様に与えて頂いた巡り合わせ”に思えるのです。

音楽を楽しむ事ができる平和に感謝。
音楽を楽しむ事ができる平和を続けよう。☺